



わんこがっぱ
ニユースぱ

岩手県学童保育連絡協議会
〒020-0122
盛岡市みたけ3-38-20
岩手県青少年会館内
Tel・Fax 019-681-0651

横のつながり大切に

久慈市連協との懇談会

久慈市連協との懇談会は四月一六日に久慈市の久慈学童保育所第二みつばちの家で開催され、久慈市の保護者、指導員二四人が参加しました。
久慈市連協の林崎智代



会長が「県連協の考え方をなどを聞き勉強したい」とあいさつ。酒井浩文県連副会長は「地域の問題などあればお話しいただき県連協として、持ち帰って善処したい。遠慮なく発言していただきたい」と述べました。同席した久慈市連協の城内伸悦運営委員は「久慈市連協としても学童の発展のため、がんばってきた。県連協との懇談会で今後の目指す方向を探っていければ」と述べました。

県連協から県内の学童の課題、現状などの話題提起を行った後、意見交換を行いました。参加者から、他の連協

6月4日 新指導員学校

新指導員学校を六月四日(日)に盛岡市の岩手県青少年会館で開催します。今回は福祉基金の

助成を受け、全国学童保育連絡協議会副会長の亀掛川茂先生(埼玉県富士見市指導員)を講師に迎

では県連協役員の選出をどのように行っているかとの質問があり、阿部勝県連副会長は「気仙連協は輪番制にしていない。輪番制で機械的にやっていくと経験が蓄積されず運営が難しくなる。ただ、事情はそれぞれで、一番良い方法を話し合っているのか」と応じました。

また、久慈市連協事務局から「経験の少ない」指導員のなかには、県連の役員になって役割を果たせるか不安との声がある」と発言があり、嘉村祐之県連事務局(全国連協副会長)は「盛岡市連協では指導員部会の中の比較的小さいポストから

えます。対象は経験三年未満、新指導員学校未受講の指導員です。県連未加盟の方も参加できます。お問い合わせは県連事務局まで。

ステップアップしていく仕組みがある。その延長で市連協から県連協へと流れになっていく」と紹介しました。阿部副会長は「自分の地域のことでだけでなく、よその地域のことを知ることも大事。役員は県連の会議で話し合われたことを地元を持ち帰って、報告してもらうことが大切な役割だ」と述べました。

久慈市は施設、設備は充実しており、市の担当者も現場に足を運んでいるとのこと、行政の対応については特段問題はないとの認識でした。

厚生労働省

運営指針 解説書を公表

厚生労働省は「放課後児童クラブ運営指針解説書」を作成し、公表しました。この解説書は各自治体あてにも送付されました。厚生労働省のホームページから全文を読むことができます。5月末にフレール館から書籍として発売予定です。

国会内で意見交換

自民党学童保育推進議員の会総会

自由民主党学童保育(放課後児童クラブ)推進議員の会の総会が三月二三日に東京都の衆議院第二議員会館で開かれ、岩手県連協から千田広幸会長が出席しました。

総会では厚生労働省少子化総合対策室長が平成二九年度予算の概要を説明。全国学童保育連絡協議会が厚生労働省への要望事項についての説明を行ったあと国会議員と

都道府県連協からの出席者の中で意見交換が行われました。

推進議員の会代表の吉川貴盛・衆議院議員(北海道二区)「私は地元で連絡協議会の皆さんと意見交換をしているが、このような場で地域の現状を知るの大切なこと。今日参加された皆さんも地元選出国會議員の皆さんと懇談の場を持ってみてはどうか」と述べました。